



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次整備提案書

### 1 整備提案の概要について

整備提案名	本牧山頂公園里山あそびプロジェクト	
提案グループ名	本牧山頂公園和田山地区地域連絡会	
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	横浜市 中区 和田山1-5	
施設整備の概要	<p>30年程前から子供の遊び空間を考え活動する中で、本牧山頂公園に多くの想いを抱えてきました。今「本牧山頂公園里山あそびプロジェクト」として地域で活動する若い親世代も加わり、今回最後の整備区域となった場を4つに大別し、それぞれ特色を活かした活動を進めます。その中で、まず原っぱ部分を拠点として自然循環に不可欠な水場と子どもを中心に人々が集う場を作る事から始めます。</p> <p>&lt;雨だれデッキ&gt; 雨水貯留タンク・ポンプ・パーゴラ・デッキを一体化したもので、多目的利用の中核的な施設。</p> <p>&lt;おむすび池&gt; 泥んこ遊びなど子どもが楽しめるものにします。</p> <p>&lt;道具庫&gt; 活動に必要な道具を収納します。</p> <p>&lt;かまど&gt; イベント・災害時に使います。</p> <p>&lt;案内板・掲示板&gt; 公園内の活動、危険箇所等も知らせます。</p> <p>&lt;野草園&gt; 糧物・薬草・遊べる草花等の在来植物を集め、鑑賞だけでなく体験や遊びに使います。</p> <p>&lt;牧場柵&gt; 道と原を緩やかに分け、その下に糧物等を植栽します。</p>	
整備助成金申請 予定額	500 万円	
設計及び整備の スケジュール	平成23年 2月～ 3月	実施のための準備（体制、進め方、地域との連携等）
	4月～ 6月	詳細設計図作成 見積もり取得、調整作業
	7月	工業者選定・契約
	8月～12月	業者施工 子ども達と自前施工
	平成24年 1月～ 3月	全体及び細部の仕上げ

### 2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水を利用した貯水施設を地中に作ります。その上にデッキ・パーゴラを作り、くつろぐ空間と雨水を貯める施設を一体的に整備します。貯水施設の水をポンプで汲み上げ、遊び、植物への水やり、道具や手足の泥落としなどに使います。</li> <li>・ デッキを多目的に使う事によって多世代のつながりが生まれる場にします。(休憩、作業、工作、調理台、舞台、あそび場等)</li> <li>・ 子ども達が身近な自然の中で活動する事を考え、「遊ぶ、学ぶ、見る、触れる、聞く、感じる、作る、食べる、つながる」をキーワードに、多目的で魅力的な空間を継続して作り続けます。</li> </ul>
--	---

<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>※詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事で出た土や石を使い、子どものあそび場や生物の生息場所として築山・石垣塚をみんなで作ります。</li> <li>・ 池作りなどで可能な作業は自分達で行ないます。</li> <li>・ 牧場柵、掲示板、案内板の作成や設置は、材料の調達から加工、設置まで自前で施工します。</li> <li>・ 糧物、薬草、遊べる草花などの在来植物の収集、野草園などは、地域住民の知恵やネットワーク、協力を得ながら、子ども達等も巻き込みながらみんなで取り組みます。</li> </ul>
<p>整備した施設の維持管理・運営<sup>注5)</sup>計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園愛護会を作り、清掃、草刈り、落ち葉かきなどの作業を地域住民へ呼びかける際に、お楽しみのイベント（流しそうめん、芋煮会等）とドッキングし、多くが参加するよう工夫します。</li> <li>・ 水、土、植物、食などの循環については、学びと活動が結びつく講座として開催し、園内にある教材（腐葉土、廃材利用、クラフト、コンポスト）として循環、活用していきます。</li> <li>・ 子ども達が身近な自然の中で五感を使って遊びながら、道具の扱い方、植物・生物との関わり方を学ぶのが基本で、先人や市民専門家の知恵を伝え合う場、素材を提供する場として運営します。</li> </ul>

### 3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丘の風（会報）を現在5号まで（累計7000部）発行し、隣接する住民宅へ戸別配布しています。また、隣接する30の町内会にも回覧をしていただいているほか、14の区内公共施設にも置かせてもらう等、地域への周知に努めてきました。</li> <li>・ 山頂公園の予定地前でワークショップを開催し公園利用者の声を聞き、計画に反映させました。また、中区の公園遊び支援や母子グループの集まりに行き、当連絡会の活動説明をしました。</li> <li>・ これまでに餅つき、流しそうめん、早起きウォッチング、リース作り等を、公園予定地の近くのスペースを使って実施しました。</li> <li>・ 平成23年より指定管理となるため、今後、環境創造局の管理セクションと、連絡会の活動について話し合う予定にしています。</li> </ul>
--	---

### 4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区内の大きな公園は芝生が多く自然や季節感が乏しいと言われる一方で、身近に自然が感じられる草原や水辺、多様な生物と出会う場を作り、子どもに体験させたいとの声が高まっています。自然の中での学び、遊びの体験を通して、子どもの情操・感性・心身の発育を促し、危険回避能力や生きる力を養います。</li> <li>・ 公園を通り過ぎるのではなく、地域の共有財産として関わり続ける事により地域のつながり、次世代への伝承ができていきます。</li> <li>・ 学び、遊び、作業を通して、自然循環や命のつながり、人のつながりを身近なところで知る場となります。</li> <li>・ 糧物や野草の栽培・利用など、会員が個人的な取り組みや活動で培ったノウハウを地域共有の資源や文化として継承していきます。</li> <li>・ カマドなどは、災害時の利用も想定しています。</li> </ul>
--	--

## 5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施工業者への発注方法など)</p> <p>※整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な作業はできるだけ自分達で行ない、自分達で汗した施設との認識を持っていただくと同時に、コスト縮減を図ります。 (池作り、築山作り、掲示板、案内板、牧場柵の作成)</li> <li>・「市民力で公園に自然空間作りを！」をスローガンに、参加を呼びかけ、労力をはじめ知恵やノウハウの提供などの協力をお願いしていきます。</li> <li>・木材・竹材・野草・糧物等の調達は、地域やNPO等とのつながりの中で創意工夫して集め、作ることで、みんなの力を結集する場として活用するとともに、コスト縮減に努めます。</li> <li>・施工業者については、複数業者から見積もりをとることはもちろん、整備後のメンテナンス面での貢献も考慮して選定します。</li> </ul>
---	--

## 6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本牧ならではの自然遊び、自然植生の伝承にお年寄りから子どもまで多世代の参加を呼びかけ、顔見知りの関係を作ります。</li> <li>・地域の方々がもつ経験・知恵・技術・情報を学び、活動がより豊かに展開できるような場と素材を提供し、在来の野草や糧物の栽培、家庭での堆肥づくり等による地域づくりとしての展開を図るよう工夫します。</li> <li>・外遊び子育て支援などを開き、地域ボランティアの方と一緒にサポートし、親子が足を運びやすい場を作ります。</li> <li>・身近な自然体験学習の場として活用していただけるよう近隣の小中学校、高校、幼稚園、保育園、福祉施設等へ呼びかけます。</li> </ul>
---	---

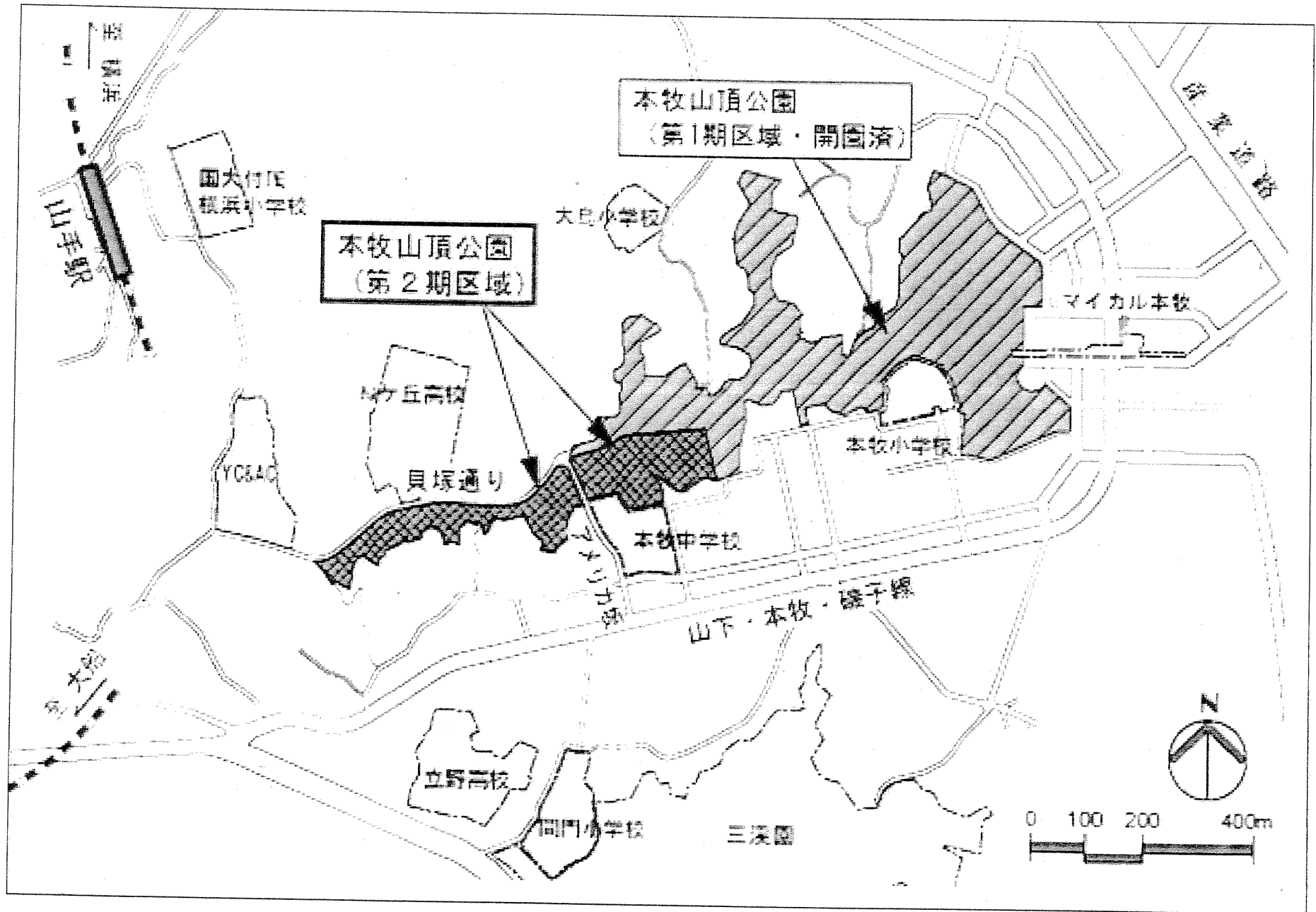
## 7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きく大別した4つの空間(斜面緑地の森、あそぶ原っぱ、耕す丘、生物がにぎわう谷)それぞれの特色を活かして自然の賑わいを取り戻し、自然を体験する活動を広げます。</li> <li>・手付かずの斜面緑地に隣接する公園は、都市における身近な自然を学ぶ場となり、生物・緑の多様性や景観を守ることは生態系サービスとして市民サービスにつながります。</li> <li>・子どもが地域の人とふれあいながら多彩な遊びを繰り広げる里山あそびを展開していきます。地域に豊かな自然を取り戻し地域の共有財産として次世代に受け継がれて欲しいと考えます。</li> <li>・いくつかの生物プロジェクトでは調査、学習、試験的活動、環境作りへと段階を追ってまち普請事業終了後も継続的に作り続け、取り組んでいきます。</li> <li>・まち普請整備によって出来る設備は、子ども達を中心としたコミュニティ作りと自然を身近に体験する場作りのシンボルとなり、活動を始める記念になり、活動拠点になります。</li> </ul>
-------------------------------------	--

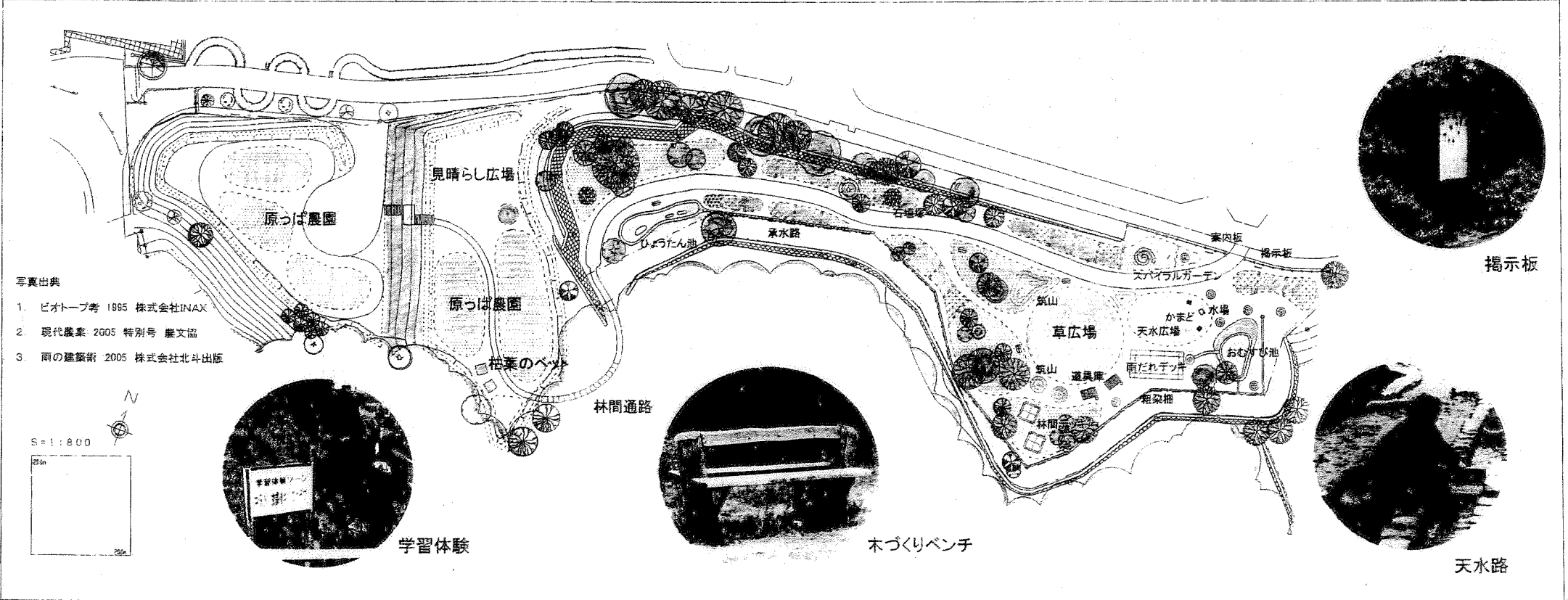
記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

2 計画図 (1) 位置図



<p>本牧山頂公園里山あそびプラン</p>	<p>筑山</p>	<p>石垣塚</p>	<p>スパイラルガーデン</p>	<p>野草園</p>	<p>糧物園</p>	<p>秋の野草</p>
 <p>「ふくろうのなく丘」</p>						



写真出典

1. ビオトープ考 1995 株式会社INAX
2. 現代農業 2005 特別号 農文協
3. 雨の建築術 2005 株式会社北斗出版

原っぱ農園  
見晴らし広場  
ひょうたん池  
承水路  
スパイラルガーデン  
案内板  
掲示板  
草広場  
かまど  
水場  
おむすび池  
雨だれデッキ  
粗朶柵  
林間通路  
林間デッキ  
木づくりベンチ  
天水路  
学習体験  
枯れ葉のベッド

S=1:800

<p>原っぱ農園</p>	<p>枯れ葉のベッド</p>	<p>ひょうたん池</p>	<p>林間デッキ</p>	<p>雨だれデッキ</p>	<p>手押しポンプ</p>	<p>おむすび池</p>	<p>粗朶柵</p>
							

## ヨコハマ市民まち普請事業

### 想定整備費用内訳書

#### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください
- 見込みも含めて記入してください。また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加（使用または労力の負担等）
雨水貯留浸透槽	プラスチック製 W3.0m×L9.5m×H0.52m	1式	600000/式	600,000	残土は築山に使用 10人・1日
ウッドデッキ	W4.0×L10.0 グリーンハート材	40.0㎡	25,000/㎡	1,000,000	一部地域施工 10人・1日
パーゴラ	W4.0m×L9.0m×H3.0m 鉄骨・グリーンハート材	1式	1230000/式	1,230,000	残土は築山に使用
	基礎・組立据付費	1式	40,000/式	400,000	一部地域施工 8人で1日
手押しポンプ	フード弁・ポンプカバー ステンレス架台含む	1式	96,000/式	96,000	地域施工 5人で1日
おむすび池	60㎡ 水深0m～0.3m アラキダ土、石敷き	1式	200,000/式	200,000	残土は築山に使用 一部地域施工10人で1日
池・水路石敷	ゴロ太石 Φ90～120内外	10円/㎡	5,780円/㎡	57,800	地域施工 10人で1日
道具庫	W1.8m×L2.7m×H1.4m	1基	497,000/基	497,000	一部地域施工5人で1日
カマド	耐火レンガ材	2基	25,000/基	50,000	地域施工10人・1日
案内板本体	W1.0×H1.5 ヒノキ材運搬費	1基	20,000/基	20,000	地域材使用 5人で1日
表示マップ製作	W600mm×H600mm ハイブリッド印刷	1枚	60,000/枚	60,000	
掲示板	W1.0m×H1.5m ヒノキ材運搬費	1枚	20,000/基	20,000	地域材使用 5人で1日
牧場柵	H0.9m ヒノキ材運搬費	1式	30,000/式	30,000	地域施工 10人で1日
計				4,260,800	
設計料・監理料		1式	500,000/式	500,000	
合計	5%			4,760,800	
消費税				238,040	
合計				4,998,840	

2 計画図(4) その他必要に応じて

雨だれデッキ計画図 S=1:60

